

千羽鶴を未来へ残すアートプロジェクト ワークショップの開催について

令和元年10月から実施している「令和元年度復興応援品活用震災伝承業務」において、震災後に東松島市へ届けられた千羽鶴を活用したアート作品を市民のみなさんと一緒につくりあげるアートワークショップを開催しますので、報道機関の皆様の御取材方よろしくお願い申し上げます。

1 ワークショップ概要 資料①

(1) 日時 令和2年2月11日(火・祝) 10:00～11:30

(2) 会場 震災復興伝承館 2階

(3) 内容 ・アート作品に封入する折り鶴の制作
・野老朝雄(ところ あさお)氏*1の作品に触れるワークショップ など

*1 デザイン、企画制作において、2020年東京オリンピック・パラリンピックのロゴをデザインしたアーティストである
野老朝雄(ところ あさお)氏にご協力いただいております。

※ワークショップ参加者募集中

2 今後の予定

3月11日(水)にアーティスト野老朝雄氏をお迎えし、アート作品のお披露目及びメモリアルイベントを開催します。(詳細は後日お知らせいたします。)

3 趣旨・経緯

東日本大震災以後、東松島市へ国内外から寄せられた様々な復興支援の中には、かつて被災地の向こう側で想いを込めて作られ届けられた「千羽鶴」を初めとした数々の復興応援品があります。震災から9年の月日を経て、東松島市と支援者との絆の証である「千羽鶴」を活用した造形作品を制作し保存・伝承し、支援への感謝の気持ちを国内外に発信します。

■問合・申込

復興政策部政策事業推進室 小野寺 TEL0225-82-1111(内線1472)

～あの日の「感謝」を忘れず ともに未来へ～



アートワークショップに参加しませんか？

東日本震災後、東松島市に各地より千羽鶴などの品々が復興を応援して寄せられました。そのうち多くのものが、これまでの間、市内のディスカバリーセンターにて大切に保管・展示されてきました。しかし、震災より約9年の月日を経て劣化しているものも少なくありません。そこで東松島市と合同会社コミュが、2018年より、これらの品々に込められた思いを、いかに未来に繋げていくか、検討をおこなってきました。

その結果、これらの品々を写真集「3.11メモラビリア」に記録しました。そして、「繋げる事」をテーマに制作活動を続けるアーティスト野老朝雄氏とコラボレートし、一部分をアート作品として震災復興伝承館に常時展示できるよう準備をすすめています。

アート作品を制作するにあたり、ぜひ市民の方にも参加していただき、みなさんにとって思い出深い作品づくりができればと思っています。

第1回ワークショップ：2020年2月11日（10時から約1時間半）

第2回ワークショップ：2020年3月11日（時間未定）

場所：震災復興伝承館

問い合わせ：東松島市政政策事業推進室 ☎0225-82-1111（内線1472）

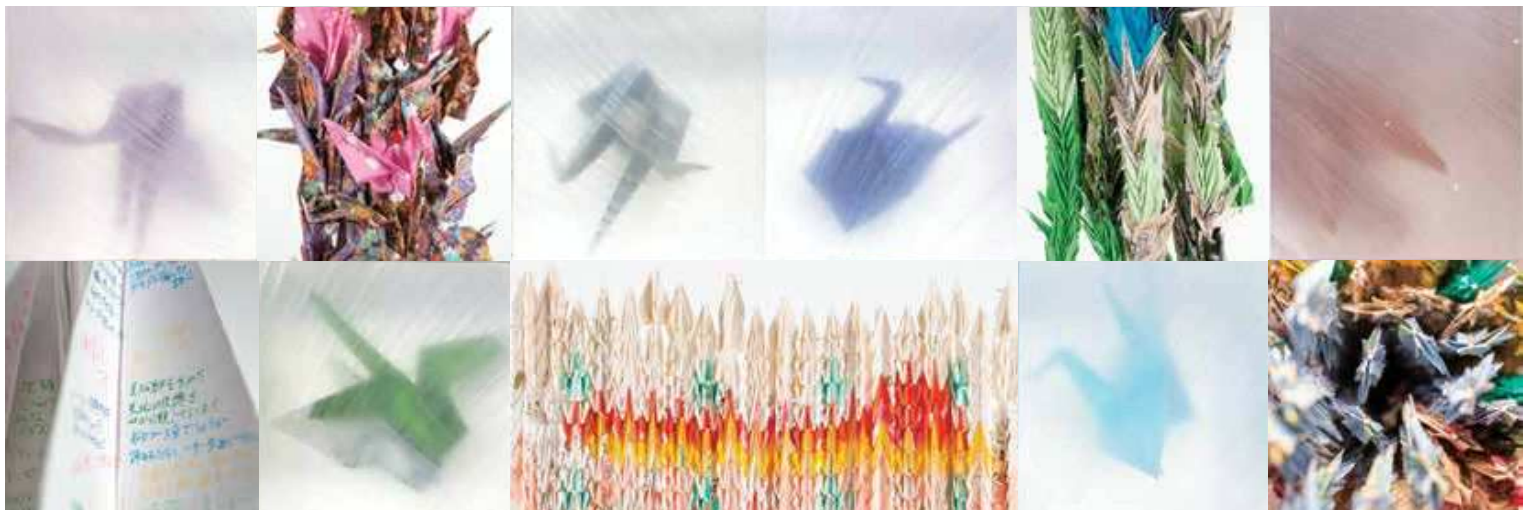
合同会社コミュ (COMU LLC)

コミュニティの持続的な発展のために2016年に設立。小平裕子(1981年東京出身)と鶴岡信太郎(1978年愛知県出身)による建築家ユニット。英国で建築教育を受け、世界各地でプロジェクトを実施してきた二人は、東日本大震災の発災をきっかけに、2012年より被災地の東北を活動の中心とし、その復興を後押しするため、ハード、ソフトの枠組みに捉われない創造的な切り口でまちづくりのプロジェクトを実施してきた。主なプロジェクトに東松島市とパンダアチエ市の相互復興を目指す「コミュプロジェクト」、復興と野蒜石産業の記憶によってつくられた「メモリアルベンチ・プロジェクト」、集団移転地でみんなのものをみんなで作る「コミュニティファニチャー・プロジェクト」など。

野老 朝雄

1969年東京生まれ。幼少時より建築を学び、江頭慎に師事。2001年9月11日より「繋げる事」をテーマに紋様の制作を始め、美術、建築、デザインの境界領域で活動を続ける。単純な幾何学原理に基づいて定規やコンパスで再現可能な紋と紋様の制作や、同様の原理を応用した立体物の設計/制作も行なっている。主な作品に、大名古屋ビルテング下層部ファサードガラスパター、東京2020オリンピック・パラリンピックエンブレム、文京区シンボルマークなど。2016年~東京大学工学部非常勤講師

文、写真、グラフィックデザイン：合同会社コミュ



千羽鶴を未来へ残すアートプロジェクト

3. 11アート作品お披露目及び 光のアートイベントの開催について

令和元年10月から実施している「令和元年度復興応援品活用震災伝承業務」において、震災後に東松島市へ届けられた千羽鶴を活用して制作されたアート作品の完成お披露目及び光のアートイベントを開催しますので、報道機関の皆様の御取材方よろしくお願い申し上げます。

- 1 日時 令和2年3月11日（水） 18：00（予定）
- 2 会場 震災復興伝承館 及び 震災遺構（旧野蒜駅プラットホーム）
- 3 内容 ・アート作品の完成お披露目
・光のアートイベント「#1000 LIGHTs in Higashi Matsushima 2020」
震災遺構（旧野蒜駅プラットホーム）周辺を会場として、キャンドルと折り鶴を使った光のアートをつくります。

当日は、アート作品のデザイン、企画制作にご協力いただいたアーティスト野老朝雄氏をお迎えいたします。（詳細は後日お知らせいたします。）

4 趣旨・経緯

東日本大震災以後、東松島市へ国内外から寄せられた様々な復興支援の中には、かつて被災地の向こう側で想いを込めて作られ届けられた「千羽鶴」を初めとした数々の復興応援品があります。震災から9年の月日を経て、東松島市と支援者との絆の証である「千羽鶴」を活用した造形作品を制作し保存・伝承し、支援への感謝の気持ちを国内外に発信します。

■問合・申込

復興政策部政策事業推進室 小野寺 TEL0225-82-1111(内線1472)

～ あの日の「感謝」を忘れず ともに未来へ ～